

2013/10/20 礼拝メッセージ レス・ロフクイスト師

主 題：神からのメッセージ
聖書箇所：詩篇19篇

レス・ロフクイスト先生

現在、IFCA (INDEPENDENT FUNDAMENTAL CHURCH OF AMERICA) の会長、ご家族は奥様と2男3女。二人の息子さんはいずれも牧師で、娘さんの一人は牧師夫人。ミシガン州の神学校で近藤牧師の3年先輩に当たる。今回、韓国への出張の途上で、浜寺に来てくださり、昨日はカンファレンスを、そして、今日は礼拝メッセージをしていただくことになった。

今日は先生から詩篇19篇と新約聖書ヤコブ書1章から「神からのメッセージ」と題してメッセージを頂きます。

今日、皆さんとこうしてごいっしょでできることを本当に嬉しく思っています。私がこの浜寺聖書教会のことを聞いたのは38年前です。私はアメリカの聖書学校に通っていました。その時にある一人の方が私たちの学校に来られました。彼の名前はジョージ・エストライクでした。彼はそこでこの地域についていろんな必要があるとメッセージされました。私は考えました。どのようになるのだろうか？南本州ミッションってどういう団体なのだろうか？どのようなことが行なわれているのだろうか？どんな人々が通っているのだろうか？と。その時はまさか私が将来その場所に来るなどとは思っていませんでした。そして、皆さんを見て皆さんのすばらしさに感動しています。皆さんの国がいかに美しい国か？すばらしい国です。そして、皆さんの教会において神はすばらしいみわざを為しておられます。そして、今それを自分の目で見るができることを感謝しています。私とその大学を卒業した後ですが、ある時、私はサッカーの試合に参加しました。そこで私は浜寺から来た一人の青年（近藤牧師のこと）に出会ったのです。その時にはまさか、私が将来彼の横に立ってメッセージをするなどとは想像もつきませんでした。神のみわざはすばらしいですね！私たちはイエス・キリストにあって一つにされています。皆さんはアメリカにIFCAに私たちのような兄弟がいることをご存じなかったでしょう。キリストへの愛によって私たちは一つにされています。イエス・キリストにある兄弟姉妹です。

神のみことばにおいて私たちは一つにされています。私たちはみことばを愛する者です。だから、皆さんの教会は「浜寺聖書教会」という訳です。ですから、この地域の皆さんは、ここに来て、神のことばを学ぶことができるのです。ですから、今日はそのことについてごいっしょに学びをしたいと思えます。というのは、神は私たちに語ってくださいます。皆さんにはこの長いノートをお配りしました。たくさんのお話を私はここに記しています。昨日のカンファレンスで私は学び方について三つのことをお話ししました。三つとも非常に大切なことです、私たちは「頭」で学ばなければいけない、「心」で学ばなければいけない、そして、「手」で学ぶことが必要だと。私たちは様々な情報を得ることによって頭で学ぶ訳です。学んだことを実際に実践することによって、私たちの心がそれによって学びをする訳です。そして、手、私たちは学んだことを実践することが必要なのです。ですから、今日はまず最初に、私たちの頭です。いろんな情報を皆さんにお知らせしたいと願います。そして最後に、私たちの心について、私たちの手について話したいと思えます。

☆序論

聖書はみことばの重要性を教えています。人々がこの聖書をしっかりと学ぶためです。どうして牧師や教師たち、また、教会が神のことばである聖書に強い関心を払うのでしょうか？なぜなら、聖書のことばは生きているからです。ヘブル書4章12節がそのことを教えます。「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」。Ⅱテモテ3：16、17節もそのことを私たちに教えています。

「16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、」、神のその創造の息吹によって聖書は造られたと言います。それがこのことばの意味です。聖霊が、その神の息吹を吹きかけられたのです。この聖霊によって与えられた聖書は、私たちにとって有益なものです。「教えと」、それは神の真理のことです。この世は感情や人間のいろいろな考えに溢れていますが、聖書は真理です。ですから、神のみことばは靈感によって与えられ、教えにとって有益だと言うのです。「戒め」にとって有益だと、つまり、私たちの罪の行ないを明らかにするものです。私たちの失敗を明らかにします。これが聖書のみわざです。生きていて私たちの過ちを明らかにするのです。それだけで終わるのではありません。三つ目に聖書が為すみわざは

「矯正」です。それはちょうど、骨が折れたとしてそれを正しくつなぐことをするように、聖書は私たちの誤ったところを示してそれが正しく矯正されていくように働きを為すのです。それは、私たちが「…すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」。聖書によって私たちは成長した者となっていくのです。それがみことば、聖書です。

神の啓示に関して、その大切さを教える聖書の箇所の一つが詩篇 19 篇のみことばです。

☆神は大空において語っておられる 19 : 1-6

ここでは、天を通して大空を通して神が語っておられることを教えます。これは神のみわざであってすべての人が見ることができるものです。一般啓示と呼ばれ、神が被造物のうちにご自身を明らかにされるのです。啓示は、神の栄光、神の存在、永遠の力、神性に関するものです。ローマ書 1 : 20 にこのように記されています。「神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。」、神が存在されていること、ご自分の御力を明らかにされます。

1-2 節 = 「:1 天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。:2 昼は昼へ、話を伝え、夜は夜へ、知識を示す。」、ですから、この 1-2 節では神の創造物が神の栄光を語り告げると言っています。それは神がすべてを造られたことを明らかにします、このメッセージが毎日出ていく様子が 2 節に記されています。毎晩このメッセージが出て行くことが記されています。昼間の太陽が、夜の月がそのことを明らかにすると言います。

3-6 節 = この世界にあってその栄光を見ることのない場所は存在していません。それが 3-6 節で教えていることです。「:3 話もなく、ことばもなく、その声も聞かれない。:4 しかし、その呼び声は全地に響き渡り、そのことばは、地の果てまで届いた。神はそこに、太陽のために、幕屋を設けられた。:5 太陽は、部屋から出て来る花婿のようだ。勇士のように、その走路を喜び走る。:6 その上るのは、天の果てから、行き巡るのは、天の果て果てまで。その熱を、免れるものは何もない。」、確かに、神はみことばをもって、この世界のすべての人にメッセージを語り続けられるのです。被造物は全世界共通の言語で語っています。4 節に、この地上のすべての場所と記されています。私は働きのために世界の様々なところを訪問するのですが、シベリヤでの非常に寒い夜のことを覚えています。寒さが増すことによって空気は益々鮮明になります。その時に見た星は今でも忘れることができません。神の栄光を現わしています。とても美しかったです。私はそれを見てとても喜びました。神の栄光を見るからです。

でも、それは一般的なメッセージに過ぎません。私たちはもっと神から知らなければいけません。だから、聖書があるのです。

☆神は聖書の中に語っておられる 19 : 7-11

「天は神の栄光を語り告げ、」と神の栄光が大空に、そして、神の恵みが聖書の中に記されているのです。ですから、神の名として言われる YHWH (ヤーウエ) が、旧約聖書の中にあって恵みと関連して用いられています。YHWH は 7-11 節に 6 回使われています。「神の恵み」です。このことを私たちは聖書を通して学ぶのです。

:7 【主】のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、【主】のあかしは確かで、わきまのない者を賢くする。

:8 【主】の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、【主】の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

:9 【主】への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。【主】のさばきはまことであり、ことごとく正しい。

:10 それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。

:11 また、それによって、あなたのしもべは戒めを受ける。それを守れば、報いは大きい。」

この 7-11 節に、私たちは 10 の声明を見ます。そして、6 つの聖書に関する表題を見ます。9 つの特徴を見ます。聖書がどういうものかを私たちに教えるのです。そして、9 つの影響を見ます。聖書がどういうみわざをなすのかを教えるのです。

◎聖書についての 6 つの表題

1. みおしえ (口語訳では「おきて」) 7 a 節

7 節に「主のみおしえは」とあります。神がご自分が望んでおられることを記したものの、それが「みおしえ」、口語訳では「おきて」と書かれています。

トラ: “人の生活のための神の教え”。人が生きるための「おきて」です。設計者なる神はメーカーの取扱説明書を書かれたのです。その「おきて」に沿って生きていくのです。道徳的な倫理的な教えで、私たちがそれに沿って生きるその教えです。人が自分の振る舞いのための「霊的なおきて」のことです。

2. あかし 7 b 節

イエドウト: 主の”あかし”。神ご自身の開示です。裁判所に行けばあなたはそこであなた自身の証言

をします。そして、教会に来ると、神があなたの生涯に何を為されたのかそのあかしがされます。あなたの神に関する個人的経験です。聖書は神ご自身のご自身に関するあかしだということです。

3. 戒め、勸告 8 a 節

ピククッド：“方向や教えに注意を払う”。神が与える原則です。そこには真理があります。それはただの主張ではありません。明確な文章の中に記されているものです。神ご自身の原則、教えです。

4. 仰せ（口語訳では「戒め」） 8 b 節

ミシュワ：“権威ある指示、部下に命令を下す”。聖書の中には神の命令が記されています。聖書は提言、良い考えやすばらしい意見が集約されたものではないのです。神はすべてのいのちを支配する完全な権威をお持ちの方です。これは神の命令です。私たちはこの命令に従うのです。

5. 主への恐れ 9 a 節

9 節には興味深いことばが書かれています。「主への恐れは」とあります。Keil & Delitsch という注解書は「聖書は”神が恐れられるために示された方法”である」と言っています。これは聖書が私たちの内に造り出すもののことです。神を知るその知識が私たちの内に恐れをもたらすのです。神がどういうお方を知れば、私たちはその方に対する聖い恐れを抱くのです。物事を正しく判断する聖い感覚を生み出します。私たちは聖書を通して「神は神だ」ということを知ります。そして、あなたが神でないことを示されるのです。そして、神が聖書を通して明らかにされることのゆえに、私たちは畏敬と聖い恐れを抱くのです。ですから、ここで「主への恐れ」と書かれています。

6. さばき 9 b 節

ミシュパト：“裁判によって判決が言い渡された”。これは司法のことばです。判事から下される判決です。そして、みことばの中に神ご自身の判決が記されています。この地上の裁判官が判決を下すように、全世界の裁判官は彼の判決を与え、それを聖書の中に書面で明らかにされました。それによれば、私たちはみな罪あるもの、有罪です。非常に恐ろしいことばです。天の判事席からの判決です。

ですから、この6つの表題は「聖書がどういうものであるか？」を私たちに明らかにするものです。

◎ 9つの聖書の特徴： 聖書とは

1. 完全 7 a 節

タミム：“完成、完全”。聖書は間違いのない誤りのない完全なことばです。確かに、そのことが記されています。でも、このことばを見る時にここには「完成」の意味があります。「完成」という意味において「完全」なのです。何も除かれていません。私は10年間ユタ州で牧師をしていました。モルモン教の人たちに伝道していたのです。彼らをキリストの救いへと導こうとして聖書を教えました。彼らは言うのです。「聖書はすばらしい、神からのことばだ。でも、それは完全ではない。他に3冊の本が必要だ。モルモンのその預言者によって書かれた本が必要だ。」と。たとえば、ヨセフ・スミスという人物が書いたものです。ですから、彼らは聖なる本は4冊あると言うのです。彼らは教会に集まる時に非常に分厚い本を持ってやって来ます。私たちのこの聖書の4倍の厚さがある本です。でも、私は「いや、聖書が完成されたものだから、これ以上のものは必要ないのだ。」と言います。

2. 確かだ 7 b 節

アマン：“明らかになるための原因、保証されること”。このヘブル語は非常に興味深いことばを使っています。なぜなら、これは皆さんが口になさることばだからです。ヘブル語は「アーメン」です。アーメン（本当、そうあれかし、確信）の語源です。それがここに記されているのです。「主のあかしはアーメンだ」と言います。皆さんが「アーメン」と言う時、「それは真実です」、「それは確かだ」と言っているのでしょうか？ですから、聖書は「信頼に値するものだ」ということです。この世の中で信頼できるものはありませんが、聖書だけが信頼できるものだ。それが聖書の特徴だと言います。

3. 正しくて 8 a 節

ヤシャ：“真っ直ぐ、正直、不正、曲がった物に反する”。「正しい」と言うとき、それが間違っていることの反対だということは確かです。これは「曲がっていない」という意味です。つまり、聖書はあなたを正しい方向へと導くというのです。曲がった道ではない、神が与えてくださる真っ直ぐな道に導いてくれるのです。聖書はすばらしいものです。

4. きよくて 8 b 節

バラ：雲のないという意味で“輝く、太陽のように明るく輝いている”（雅歌6：10「暁の光のように見おろしている、月のように美しい、太陽のように明るい、旗を掲げた軍勢のように恐ろしいもの。それはだれか。」）。太陽のようにすべてを通して明らかにするのです。この礼拝堂の中にその例を見ます。この壁を通して中を見ることはできません。この壁に光は通りません。でも、窓を通して光は入って来

ます。でも、この窓を見て外にあるいろいろな物を想像することは出来ません。聖書は、この壁や窓のようなものではないのです。聖書は明確に明瞭に見せるものです。神が望んでおられることを明確にあなたに示すのです。それをあなたは理解できるのです。詩篇 119 : 105 「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」、それが聖書だと言うのです。

5. きよく 9 a 節

タホー：“悪がない、不潔・不純のない”。そこには悪や不潔さがなくということ。不純物の全くない金属のようなものです。このことばは「金」に用いられるのです。一つの例ですが、私は37年前に結婚しました。その時に、私は妻とこの指輪を交換しました。私たちが選んだこの指輪は純粋な金です。それは私たち自身の夫婦における聖い愛を象徴するもので、ここには他の不純物はありません。それについて聖書はそれが聖書だと教えるのです。真実ではないいかなるものも混ざっていないということです。きよいものです。

6. まこと 9 b 節

ヘメス：“まったくの真実”。聖書が語ることはすべて真実であると。神について、人について、過去、現在、未来について記されていることはすべてについて真実であると言います。

7. ことごとく正しい 9 c 節

「正しい」=ツァダック“神の道徳的規準に適合する”+「ことごとく」=ヤカッド“乱雑でない”
「一度の多くのものを集めても何も残さない」が含まれる。これは本当に道徳的に完全で正しいものです。神の完全な道徳的倫理的基準に適合するものです。神はすべてにおいてそうだと言います。聖書が言うすべてのことは正しい、真実であると。

8. 金よりも 10 a 節

チャマッド：肯定的に“熱心に求める、また、懸命に恋しがる”。否定的に“園において食べるのに良い木”（創世記 2 : 9 「神である【主】は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を生えさせた。」）、“遊女への欲望”（箴言 6 : 25 「彼女の美しさを心に慕うな。そのまぶたに捕らえられるな。」）。聖書のことばは金よりも好ましい。卑しい人々は金に対して卑しい欲望があります。私はアフリカを訪問したことがありますが、そこにはまだ地下に金やダイヤモンドが埋蔵されています。いろいろな犯罪があります。というのは、彼らは何とか金を得ようとするからです。そのようにこのことばは使われています。私たちはそのように聖書のことばを求めることだと言うのです。聖書と同じ価値のあるものはないからです。悪い者たちが悪いものを求めるように、そのように私たちはこの神のことばを熱心に求めることが必要だと言うのです。なぜなら、聖書は金よりもすぐれたものだからです。

9. 甘い 9 b 節

マソク：“より甘い、より快い”。この世の腐りかけた、味の無い、人工的なまずいものに比べて、聖書のことばは甘いと言うのです。そして、罪がもたらす苦みというものを私たちから除いていきます。私は人々の中にある苦みというものを見たことがあります。心の中に苦みがあるならそれは表情に現われます。でも、クリスチャンになることによってそれは変えられます。心が変わります。聖霊がその心の内に働きを為されます。聖書を読み始めると、聖書がその人の生活の中に甘みをもたらしていきます。その時に、その人の表情までが変えられていくのです。皆さんの顔を見ていると、皆さんの顔には甘みが出ています。聖書がどのように皆さんの生活を変えられたのか、そのことが分かります。それを見ることは私にとって大きな祝福です。私はアメリカから来ていますが、こうして皆さんのすばらしい表情をこの日本にあって見るすることができます。なぜなら、聖書は「蜂蜜よりも甘いものだ」と言うからです。そして、私たちの内側からそのような苦みを取っていくのです。

これが聖書の9つの特徴、これが聖書だと言うのです。

◎9つの結果：聖書のなすみわざ

続いて、聖書のもたらす結果を見ていきましょう。聖書はどういうみわざを為すのでしょうか？

1. たましいを生き返らせ 7 a 節

「生き返らせ」=シューブ：“戻る、悔い改める、回復、変える、改宗”。「たましい」=ネフェシュ：体に対して内なる人。私たちを生まれ変わらせるということです。聖書は、そのページのおことばを通して、聖霊なる神の働きによって内なる人を完全に変わることができるのです。そして、神が望んでおられるように私たちを造り変えていくのです。神は私たちの内にある「苦味」をすばらしいものへと変えていかれるのです。私たちの心を変えられるのです。

2. わきまのない者を賢くする 7 b 節

「わきまのない者」＝ピティ：”だまされやすい、理解力のない人、知らない、扉が開いている、空間が開いている”。このことばは子どもたちに対してよく使われます。というのは、子どもたちはすぐに間違っただ道へと誘惑されてしまうからです。ですから、子どもたちはいろいろと人の影響を受け易いものです。悪い人はキャンディをもって子どもを悪い方向へ、間違っただ方向へと誘惑することができるのです。7節では「わきまのない者を賢くする」と言っています。「賢く」＝チャカム“生きる知識を与える”。皆さんにとって子どもたちは大切です。教会における宝物のようなものです。だから、彼らにしっかりとみことばが必要です。彼らは賢くなっていくために、哲学においてではなく真理において賢くなることです。その真理がそれぞれの生活に知恵となって現われて来るようにということです。

3. 心を喜ばせ 8 a 節

サマック：”喜び、自然発生の感情が目に見える形で表わされた”（ヴァイン）。エレミヤ15：16で用いられたように、状況にかかわらない喜びです。「私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、【主】よ。私にはあなたの名がつけられているからです。」、喜びによってのすみやかな応答です。聖書は喜びを生み出すからです。みことばが働いておられるときに、あふれんばかりの喜びと称賛があります。

I F C Aの一人の牧師のことですが、アフリカに行くことが非常に彼の喜びになっています。彼は一つのカンファレンスで2万人の牧師たちを訓練します。アフリカの殆どの牧師たちは聖書を持っていません。彼らは聖書をもってそれをどのように使うのかを学ぶのです。聖書を頂いた時に彼らの表情は喜びに満ちあふれます。アフリカの人たちは感情を顕わにします。喜びをいっぱい表現するのです。彼らは大きな声でその喜びを表現するとアフリカに行ったその兄弟は言います。それがこの8節で言っていることです。私たちの心が喜びに溢れていくのです。

4. 目を明るくする 8 b 節

オワー：”光を与える、輝くこと”（民数記6：25に2回記されています。「【主】が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。」）。あなたに光を与えるのです。先に8節の「明瞭、分かり易い、不明瞭でない、難しくない」という意味をもつことばを思い出してください。みことばの効力は啓発です。聖書は壁や窓のようなものではなく、私たちに明らかに真理を示してくれます。私たちの目を開いてくれるのです。詩篇119：105、130「119:130 みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。」

5. とこしえまでも変わらない 9 a 節

ハマッド：”確立した、不動の”＋ハッド“永久から永久までも、永遠”。神のおことばは絶えることがありません。神のことばは生きていて廃れることがないのです。生きた永続的なことばであり、不滅のものです。I ペテロ1：23でペテロはそのことを教えています。「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」と。イエスご自身もマタイ24：35で「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。」と言われました。

6. 好ましい 10 a 節

パズラブ：”より精錬された、純金”。「金よりも好ましい」、あなたを豊かにするということです。なぜなら、聖書は「金よりも、多くの純金よりも好ましい。」からです。純金を持っている者は非常に豊かな者です。ですから、聖書を持っているということは最高の宝を持っているということです。聖書を理解することは、巨額の富を手にするよりも最も価値ある純金よりも、この世の最高の財産よりも優れているのです。アフリカでのこと、ある牧師は聖書を持っていませんでした。彼はそのカンファレンスのことを耳にしたのです。私たちの牧師が聞いたのは二千人の牧師が来る分しかお金がなかった。でも、一万人の牧師たちが来たいと言ったのです。だから、このアメリカの牧師はもっと多くのお金を集めてもっと多くのアフリカの牧師たちがそのカンファレンスに来ることができるようにと、彼は一万人の牧師たちが集まることのできるだけのお金を集めたのです。でも、もう一人来たのです。彼は三日間歩いてそのカンファレンスにやって来ました。そして、彼は「聖書を下さい」と懇願したのです。その牧師に対して「私は聖書がほしいのだ」と懇願するのです。牧師は「あなたのために何ができるか分からない。二日目のカンファレンスに来てください。」と言いました。数千人の牧師たちがそこにはいました。アフリカの牧師は「私には聖書が必要なんだ！」と言います。アメリカの牧師は「どうすればいいのかわからない」と言うのですが、彼はやっと1冊だけアレンジした聖書を手に入れることができました。そして、三日目にその聖書をアフリカの牧師に提供することができました。聖書を受け取ったアフリカの牧師は涙を流すのです。そして、着ていたシャツを脱いで「私にはこの洋服しかないの、これを差

し上げます。なぜなら、私はこの聖書、最高の宝を頂いたから。金よりもすばらしいものだから、どうぞ、私のシャツを貰ってください。」と言います。アメリカの牧師は「いやいや、あなたはもうシャツを着ておいてください」と言いましたが、このアフリカの牧師は「この聖書はいかなるものよりも、金よりも宝よりもすばらしいものだ。」と言ったのです。これがこの10節のことばが言わんとしていることです。

7. 甘い 10b節

同時に、すばらしい喜びを与えていると言っています。

ディバシュ＝”ハチミツ”＋ノフェット ツーフ”＝“ミツバチの巣からのハチミツ”（空気に触れる前の）美味しいもの。蜂蜜がもたらすその甘さよりも甘い喜びです。それが神のおことばであると言うのです。詩篇119：103に「あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。」とあります。

8. 戒め 11a節

ザハー：”注意すること、警告すること、危険に光を輝かせること”。警告するということです。聖書のみことばには警告が溢れています。私たちは聖書を学ぶことによって、まさに私たちには内蔵にリーダーがあってそれが間違っただけを明らかにしてくれるようなものです。ウィヤズビーは「神のおことばで心と思いとを満たす信仰者は、悪い考えを見抜くための内臓リーダーを持つことになる。」と言っています。聖書は私たちに警告を与えてくれるのです。

9. 報い 11b節

エケブ：字義通りには”そこにそれらを管理することは最後である”（あることに関する最後の理由。年代順の最後）。そして、それは“報い”と正しく訳された。あなたが主のみことばに従うなら、この地上にあって神の豊かな祝福を頂きます。でも、究極的な報いとは永遠のことです。聖書への服従は輝かしい永遠の報い＝祝福をもたらすのです。その永遠の祝福に関してこの聖書は教えてくれるし、そのような結果をもたらすということです。それが聖書だと言うのです。

神は、確かに、大空を通してご自身を明らかにされますが、聖書を通してご自身をもっと明確に私たちに示してくれるのです。もし、「頭」だけで良ければここでメッセージを終わったらいいのです。でも、この12節から14節までをご覧ください。

★どのように生きるか 12-14節

ここでは「どのように生きるべきか」を教えています。これは情報を得るための学びではありません。それは1-11節で見て来ました。12-14節は、私たちの心がどうあるべきか？私たちの手について、私たちは何をすべきなのか？と、心と手についての学びです。ですから、私たちはこうして聖書を学んでノートを取って、それを家の中のどこかにファイルしておく、そのための学びではありません。これを私たちの日々の生活に活かすことが必要です。聖書のことばによって私たちの心が変わられ、私たちの生き方が変わっていくようにと、そのようにこの詩篇19篇は終わるのです。罪から離れること、罪が支配しないようにということです。ダビデは14節で「私のことばがみこころに沿ったものであるように」と願っています。

◎ヤコブ書 1章21-25節

ヤコブ書をご覧ください。今見て来た詩篇19篇と同じことを、このヤコブ書1章に見ます。

1：21-25「：21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。：22 また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。：23 みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。：24 自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようであったかを忘れてしまいます。：25 ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。」

22節に「また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」とあります。ですから、間違いなく、私たちは神のおことばを聞かなければいけません。でも、私たちはそれを実行することが必要です。それは私たちの手です。どのようにして私たちはみことばを実行するのでしょうか？この前後のみことばがそのことを教えてくれます。

★どのようにみことばを実行するのか？

(1) みことばの有益さ 21節

21節の後半に「…みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」と書かれています。神の

みことばを伝えるのです。そこに神のすばらしい有益なものがあるということです。私たちはそのみことばを聞き、そのみことばを行うことが必要です。

(2) みことばは鏡のようなもの 23節

鏡を見るとそこに私たち自身を見ます。聖書を見るとまさにそこに自分を見るのです。「神様、あなたは私自身に語っている」と。今朝、私は洋服を着てネクタイを締める時に鏡を見ていましたが、そこに近藤牧師の顔を見ませんでした。そこに私自身を見た訳です。それが鏡の働きではないですか？23節に記されているように、聖書を見る時にそこにあなた自身を見るのです。あなたの心を映し出します。あなたの生活を映し出します。あなたの心に秘めたことを明らかにするのです。「神様、あなたは聖書を通して私のことを語っていらっしゃる」と。聖書は鏡のようなものです。

(3) 読んだことを忘れてはいけない 24節

24節にあるように「自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようなであったかを忘れてしまいます。」と、このようなことがあってはならないということです。こういう意味です。今日、皆さんはメッセージをお聞きになった、それを午後お考えになるのです。そして、明日も学んだことをもう一回考え直すのです。学んだことを忘れないのです。聖書が皆さんの頭の中を常に駆け巡るようにするのです。読んだこと、学んだことを忘れないことです。

(4) 自由の律法を一心に見つめて離れない 25節

一心にその教えを見つめて、そして、それを自分の人生に活かそうとするのです。私たちは学んで、頭にその情報を蓄積するだけのものではなく、確かにそれは大切なことですが、それで終わりではありません。私たちはしっかり情報を得、それについて考え、その結果、私たちの生活や心が変わられていくためにするのです。25節にあるように、そのみことばを「一心に見つめる」ことです。

(5) 祝福される 25b節

そして、25節の終わりに「祝福されます」とあります。神によって祝福を頂くということです。

21節には「その有益さを見る」ということで、そして、25節には「その有益さ、その祝福を自分が頂く」ということです。というのは、私たちはみことばについてただ考えているだけではないからです。それを私たちの心に適用し、私たちの生き方に適用していくからです。

浜寺聖書教会はここにあって神のおことばを教えるのです。同時に、皆さんはそれを実践するのです。あなたの心に、そして、あなたの生活にそれを適用するのです。私が祈ることは、皆さんがみことばをご自分の心に適用して生きることです。アーメン。